

お知らせ

大変遅れましたが、水産資源管理談話会報 35 号をお届けします。本号は、平成 15 年 3 月 19 日と同年 11 月 25 日にそれぞれ開催された第 43 回と第 46 回の記録です。第 43 回では酒井光夫氏による「アルゼンチンにおける漁業管理の現状—マツイカの資源管理—」、第 46 回では上田祐司氏による「北海道南部太平洋マダラの体重コホート解析による資源量推定と資源診断」、および山口宏史氏による「北海道太平洋ケガニの甲長コホート解析による資源量推定」が話題提供されました。

酒井氏は JICA の長期専門家としてアルゼンチンに約 5 年間滞在され、話題はその間の技術移転における研究報告です。上田、山口両氏は資源特性値を得るために比較的容易に収集できる資料に対する解析法を工夫され、非常に興味ある内容です。

次回第 51 回水産資源管理談話会は、平成 17 年 5 月中頃に VPA(コホート解析)について開催予定です。話題提供者は松石 隆氏(北大院水)と平松一彦氏(東大海洋研)で、できるだけわかりやすく話していただくようお願いしてあります。万障お繰り合わせの上、ご参加ください。

(北原 武)